

鉄骨置屋根構造の耐震診断・改修の考え方」講習会

鉄骨置屋根構造は、体育館、集会場など災害時の避難施設に多く用いられる場合が多く、被害が発生してはならない重要な施設です。2012年8月には、東日本大震災での鉄骨置屋根構造の被害について日本建築学会で報告会を開催しました。今回は、耐震診断・改修の考え方を知ってもらうことを目的としています。近い将来、大きな地震が発生すると予測されています。本講習会を開いていただき鉄骨置屋根構造の被害を無くするよう皆で努力していきたいと考えています。

「鉄骨置屋根構造の耐震診断・改修の考え方」講習会

2011年東日本大震災において、鉄筋コンクリートの壁付片持ち架構で支持された鉄骨置屋根体育館（鉄骨置屋根構造）において支承部を中心とした被害が広範囲に発生し、その多くでアンカーの一部がコンクリートが競技場内に落下するなど、死傷者が発生しかねない被害が生じています。原因の一つとして、片持ち架構が構面外に振動応答し支承部に想定外の荷重がかかったことが考えられていますが、このような応答に対する支承部の検定はまた諸設計規準、耐震診断指針に明記されておらず、盲点となっています。

この問題に対し、このたび「鉄骨置屋根構造の耐震診断・改修の考え方」をとりまとめましたので鉄骨置屋根構造を設計・診断・改修するにあたっての考え方を、具体的な計算例を添えて説明いたします。どうぞ奮ってご参加ください。

講習内容

- | | |
|---|-------------|
| (1) はじめに
柴田明徳（東北大学名誉教授） | 13:00～13:20 |
| (2) 鉄骨置屋根構造の耐震診断・改修について
竹内 徹（東京工業大学教授） | 13:20～14:20 |
| (3) 耐震診断・改修 計算例 | |
| ① 計算例1（N市市民体育館モデル）
川辺洋一（（株）構造システム） | 14:20～15:00 |
| ② 計算例2（茨城県N高校モデル）
竹内 徹（東京工業大学教授） | 15:00～15:40 |
| ③ 計算例3（I市総合体育館モデル）
安岡千尋（（株）竹中工務店） | 15:40～16:20 |
| (4) 鉄骨置屋根支承部の実験例
山下哲郎（工学院大学教授） | 16:20～16:50 |
| (5) おわりに
田中礼治（東北工業大学名誉教授） | 16:50～17:00 |

2016年5月12日（木）

13:00～17:00

建築会館ホール

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 日本建築学会
田町駅（JR山手線）・三田駅（都営浅草線）より徒歩3分

参加費 6000円（書籍代込：当日、受付にて支払）

申込方法 ●メール申込み：下記ホームページから申込み

●郵送申込み：〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館
一般社団法人 日本建設技術高度化機構

主催：一般社団法人 日本建設技術高度化機構 <http://www.nikengkiko.jp/>

後援：日本建築学会（予定）、日本建築構造技術者協会（予定）

後援：（一財）日本建築防災協会、（一社）日本建築構造技術者協会、（一社）日本建築学会、（一社）日本建築

あと施工アンカー協会、（一社）構造調査コンサルティング協会、（一社）埼玉建築設計監理協会、

（一社）日本建築構造設計事務所協会連合会（予定）、（一社）日本建築士事務所協会連合会（予定）

（一社）宮城県建築士事務所協会、（一社）東北建築構造設計事務所協会

